

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1707		
科目名	英語Ⅶ		
担当教員	金子 利雄		
対象学年	2年	開講学期	後期
曜日・時限	木 2		
講義室	1207	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	7 語学		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1-D〔市民的素養・市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。</p> <p>DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもつて、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CP)との関連</p> <p>D1 市民的素養と参加 (10%)</p> <p>A1 グローバル感覚 (5%)</p> <p>A2 異文化適応 (5%)</p> <p>H1 論理的思考 (10%)</p> <p>I1 理解・分析と読解 (50%)</p> <p>K1 ライティング・コミュニケーション (10%)</p> <p>K2 オーラル・コミュニケーション (10%)</p>		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	<p>■能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>2 進行期~4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>英語Ⅶで学修した内容を基に、キャリア形成で重視されている TOEIC L&R テストの対策を目的とします。また、クラスのレベルに応じて TOEIC S&W テストにも対応できる力を養成します。授業は習熟度別クラス編成により演習形式で実施され、学修の目標設定と到達度確認には TOEIC L&R IP テストが利用されます。なお、授業を補完するものとして、必要に応じて e-learning を使用します。</p> <p>(キーワード) TOEIC・リスニング・リーディング・スピーキング・ライティング</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 TOEIC</p> <p>■授業の目的 TOEICをパート別 (Part 1からPart 7)、トピック別 (Restaurantsや Entertainmentなど)、あるいは文法項目別 (名詞や動詞など) に分けて設問を解く。また、限られた時間の中で、全ての問題に解答するための「スピード」と「分量」にも対応できるよ</p>		

	<p>うに、適切な問題練習を行う。TOEICの頻出単語を学修し、単語力を伸ばすことも目的とする。</p> <p>■授業のポイント TOEICの演習を通して、実践的な英語力を身に付ける。</p>
総合到達目標	<p>■ 一般目標 (GIO) TOEICの問題演習を通して、実用的な英語表現や語彙を身に付けることを目標とする。更には、TOEIC L&R IP テストもしくはTOEIC L&R 公開テストで、自身のレベルに合ったスコアを獲得することを目標とする。</p> <p>■ 個別行動目標 (SBOs)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常会話、広告、ビジネスに関わる英語の発話を聞き、大意や要点をつかむことができる。(第2-15回) ・ ある程度の長さの英語の発話から、必要な情報を聞き取ることができる。(第2-15回) ・ 新聞記事、オンライン記事、電子メール、パンフレットなど様々な文章を読み、大意や要点をつかむことができる。(第2-15回) ・ ある程度の長さの文章から必要な情報を読み取ることができる。(第2-15回) ・ 適切なキーフレーズを使って、自分の意見を述べる。(第2-15回) ・ 自分の意見や考えを理由もそえて論理的に述べる。(第2-15回) ・ 目的と場面に適した文章、表現を用いて文を書くことができる。(第2-15回) ・ 自分の意見や考えを理由もそえて論理的に書くことができる。(第2-15回) ・ TOEICをパート別に、トピック別に、あるいは文法項目別に、その特徴を説明することができる。(第2-15回) ・ TOEICに臨む際の「スピード」と「分量」の特徴を知り、パート別での適切な解法を説明することができる。(第2-15回) ・ TOEICの頻出単語を修得することができる。(第2-15回) ・ TOEICの全体像を把握し、目標スコアを獲得することができる。(第2-15回)
成績評価方法	<p>(適用ループリック) D1: 10%、A1: 5%、A2: 5%、H1: 10%、I1: 50%、K1: 10%、K2: 10%</p> <p>(成績評価手段)</p> <p>■ 授業内試験 (30%) (評価の観点) 授業における演習が十分身に付いているか評価する。 (フィードバック方法) 授業内で講評を行う。</p> <p>■ 授業参画度 (30%) (評価の観点) 授業態度や授業内での発言等を評価する。 (フィードバック方法) 学生は授業内で適宜担当教員に確認できる。</p> <p>■ 課題 (20%) (評価の観点) 授業時間内、あるいは時間外で出される課題や小テストを評価する。 (フィードバック方法) 授業内で講評を行う。</p> <p>■ TOEIC L&R IPテスト (20%) (評価の観点) TOEIC L&R IPテストのスコアを評価する。 (フィードバック方法) 学生は、試験終了後、獲得スコアとアドバイスを確認できる。</p>
履修条件	英語VIIIを同時に履修すること。
履修上の注意点	<ol style="list-style-type: none"> 1. レッスントピックやマテリアルはクラスのレベルと授業の進度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします。 2. 必ず新しいテキストを購入してください。また、テキストは毎回の授業に必ず持参すること。 3. 授業中のスマートフォンの使用は単語や英語表現を調べることに限り可とします。ただし明らかに授業と関係のないサイトを閲覧、メッセージのやり取りを行うなど授業の聴講を妨げる行為については厳重注意を行い、減点評価とします。これはパソコンの使用についても同じです。 4. 宿題、課題は必ず期限内に実施すること。 5. 授業を欠席あるいは遅刻をした場合、宿題・課題等の確認は自分自身で責任を持って行うこと。欠席、遅刻は宿題・課題を完了できなかった理由にはなりません。 6. 公欠の場合は、事前に教員に連絡すること。事後は認めません。 7. 授業は学生主体で行われるため、間違いを恐れずに積極的に参加すること。
授業内容	
関連科目	英語V (RMGT/SSCS 1705)、英語VI(RMGT/SSCS 1706)、英語VIII(RMGT/SSCS 1708)
教科書	<p>※クラスによって使用するテキストは違います。教員の指示に従って、該当するテキストを各自1冊購入すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Yoshizuka Hiroshi 他『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -Basic-』成美堂, 2021, ISBN 978-4-7919-7232-6 ・ Yoshizuka Hiroshi 他『BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST-

	REVISED EDITION-』成美堂,2017, ISBN 978-4-7919-6030-9 ・ Lin Lougheed 『LONGMAN PREPARATION SERIES FOR THE TOEIC TEST - Intermediate- 6TH EDITION 』 Pearson, 2018, ISBN 978-0-13-498485-8
参考書・参考URL	授業時に指示します。
連絡先・オフィスアワー	質問には、授業前後の時間に対応します。
研究比率	

